

## 町の将来に私たちの意見を！ (くらしを支える地方自治)

本単元で育成する資質・能力

「主体性」「協働的課題解決力」「振り返り力(メタ認知力)」

日時 令和2年10月7日(水) 6校時(15:00~15:50)

場所 3A教室

学年・組 第3学年A組(男子17名,女子9名,計26名)

### 単元について

本単元は、学習指導要領公民的分野の内容「C 私たちと政治(2) 民主政治と政治参加」および「B 私たちと経済(2) 国民の生活と経済」の2つの領域を扱っている。本単元では住民自治を基本とする地方自治の考え方について、地方公共団体の政治のしくみや働きを通して理解させることをねらいとしている。

この単元では、身近な地域の政治や住民の政治参加など具体的な事例や制度を取り上げ、「地方自治」が「民主主義の学校」とよばれている理由や、「まちづくり」の重要性に気づかせたい。地域の特色ある政治や住民の政治参加、地域づくりのあり方について「地域住民」の立場から積極的に参加していこうとする態度を育てようとするものである。その際に財政などの面で課題を抱えている地方自治体の実態にも触れ、今後の自治体の方向性についても深く考える機会としたい。現代日本の政治の動きを多面的・多角的にとらえる活動を通し、「将来の主権者」「地域住民」であることを自覚させ、進んで政治に関わっていこうとする態度を育てるものである。

#### ○ 学習単元の系統(学習内容の関連)

小学校第3・4学年 (4) 地域社会の災害及び事故の防止:人々の安全を守るための関係機関の働きや人々の工夫や努力 ・関係機関は地域の人々と協力して災害や事故の防止に努め、相互に連携し緊急に対処する体制をとっていること	小学校第5学年 (1) 日本の国土の自然などの様子:国土の環境が人々の生活や産業と密接に関連している ・公害から国民の健康や生活環境を守る大切さ	小学校第6学年/// (2) 日本の政治の働き:政治は国民生活の安定と向上を図るための大切な働きをし、日本の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいている ・国民生活は地方公共団体や国の政治の働きが反映し、日本国憲法は国家や国民生活の基本を定めていること
--	--	---

### 生徒観

本学級の生徒は、授業規律が確立されており、落ち着いて授業に取り組んでいる。また、1学期末に実施した授業評価アンケートの「1 授業中、私語やいねむりなどせず、集中して学習に取り組んでいます。」に100%、「4 授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみたい」と思います。」に92.3%の生徒が肯定的に回答しており前向きかつ積極的に取り組んでいる。

しかし「5 授業では、課題を解決するために、どのような方法だと解決することができるかを考えています。」には「よく当てはまる」と答えた生徒が15.4%と多くの資料を読み取る社会科において情報

収集に自信のないことがわかる。生徒はインターネットや資料集，新聞記事などから調べ学習などで必要と考えられる資料を収集することには意欲的に取り組むことができる。しかし，複数の資料を精選して活用することに苦手意識を持っていると考えられる。

## 指導観

【本校の育成しようとする資質・能力】

○主体性      ○協働的課題解決力（探究力）      ○振り返り力（メタ認知力）

指導にあたっては，以下の工夫を行う。

### ○主体性

地方自治の重要性，問題点を考えさせ，それらを踏まえて自分たちの住む町をよりよくするには，どのような方法があり，どのように関わることができるかを考えさせたい。2年次には中四国地方には過疎に指定された地域が多く，その克服に向けた取り組みが各地で行われていることを学習している。また，総合的な学習の時間には次世代議会での提言に向けた取り組みを行っていることからパフォーマンス課題は抵抗なく学習を進めることができると考える。町の活性化については予算に限りがある行政と年齢や立場により要求の異なる民間の考えについて既習事項である対立と合意，効率と公正を学習に活かしたものとしたい。

## 単元の目標と評価規準

### <単元の目標>

地方自治の意義や仕組みについて理解することができる。

住民の権利や義務に関連させて，地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識をもつことができる。

### <評価規準>

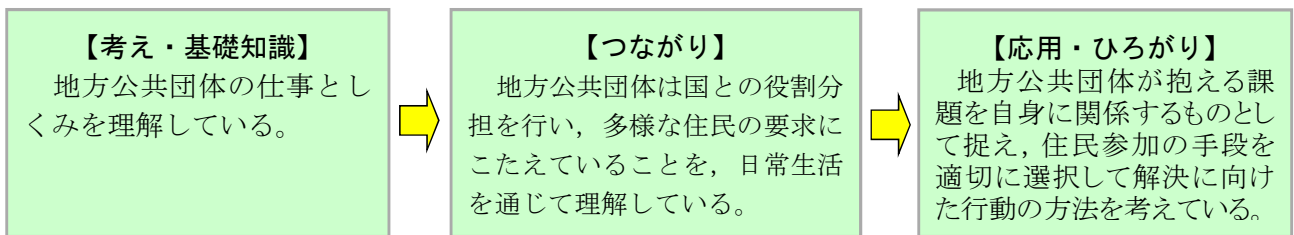
ア 社会的な事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 社会的な事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や地方公共団体の政治に対する関心を高め，国や地方公共団体の仕組みや考え方について意欲的に追究している。</li> <li>・主権者であるという自覚を高め，主体的に政治に参画しようとする意欲を高めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会制民主主義が我が国の政治の原則になっていること，主権者として主体的に政治に参加することの意義について多面的・多角的に追究している。</li> <li>・民主政治と政治参加に関わる課題を見だし，対立と合意，効率と公正などの観点から多面的・多角的にその過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査や見学などによって，議会制民主主義や地方自治の政治の仕組みについての様々な資料を収集し，国民主権などの民主政治の基本的な考え方と，その考え方に基づく国や地方公共団体の政治の仕組みについての学習に役立つ情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治の基本的な考え方，地方公共団体の政治の仕組み，我が国の民主政治の仕組みのあらまし，政党の役割，多数決の原理とその運用の在り方，法に基づく公正な裁判の保障について理解し，その知識を身に付けている。</li> </ul>

## 指導と評価の計画

○本単元で身に付けさせたい資質・能力と評価規準

資質・能力	主体性 (自ら課題を見いだす力)	協働的課題解決力 (協力しながら課題を解決する力)	振り返り力 (メタ認知力)
I (基礎的知識)	<b>【課題発見と解決方策】</b> ○地方公共団体の仕事と日常生活との関係を理解できる。	<b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ○政治の働きを列挙し、国と地方の仕事进行分类することができる。	<b>【知識・技能の理解】</b> ○地方自治の必要性を資料の活用を通して説明することができる。
C (つながり)	<b>【考える・議論する】</b> ○地方公共団体のしくみを理解し、地方財政等諸課題の解決について考えることができる。	<b>【多面的・多角的】</b> ○地方公共団体と国のしごとを比較し、共通点と相違点をまとめることができる。	<b>【他とのつながりを理解】</b> ○地方の諸問題解決に向けて、さまざまな団体との連携が重要性を高めていることを理解することができる。
E (応用)	<b>【学びに向かう力】</b> ○地方公共団体の仕事に関する住民の権利を理解し、行政の発信する情報に関心を寄せている。	<b>【未知の状況への対応】</b> ○神石高原町の現状を把握し、今後発生する可能性のあるさまざまな課題を予想しよりよい町づくりに向けた意見を表明することができる。	<b>【学びを生かそうとする力】</b> ○神石高原町の抱える問題を整理し、それぞれについて対応策をもとに自分の関わり方を考えることができる。

### 【ICEモデル】



(全5時間)

次	学習活動	観点			生徒の思考の流れ	評価	
		関	思	技		知	◇評価規準
1	<b>課題の設定</b> 本時の目標：自分たちのくらしが、地方自治と深く関わっていることを知り、地域や地方自治に関心をもつことができる。 ○パフォーマンス課題の確認 ・単元末のパフォーマンス課題から、地域の問題に関心をもつ。 ○日常生活に地方公共団体が深く関係していることを知る。 ○地方分権について知る。	○			・自分たちの日常生活には地方公共団体の仕事が多く関わっているんだな。 ・地域で起こる問題は住民の意思と責任で自主的に解決しないといけないんだ。	◇地方自治が地域のくらしとどのように関わっているかに関心をもっている。 ★地方自治が保障されていることを、「住民」や「地方自治は民主主義の学校」の語を使って説明している。(ワークシート) 【主体性】	

	<p>(単元を貫く課題)</p> <p>中学生として町の活性化を考えることを通して、生涯に渡って対立と合意、効率と公正などの視点で政治参加することの自覚を養う。</p>				
2	<p><b>情報の収集</b> 本時の目標：地方公共団体の仕事としくみを理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地方公共団体の仕事を知り，国の仕事との違いを知る。</li> <li>国と地方公共団体のしくみの共通点と相違点を知る。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>地方公共団体の仕事は自分たちの生活のあらゆる部分と関わっているんだな。</li> <li>国と地方公共団体ではしくみに大きな違いがあるんだな。</li> </ul>	<p>◇地方議会や首長の仕事，両者の関係から地方公共団体の政治の仕事としくみを理解している。</p> <p>★地方公共団体と国の仕事と政治のしくみの内容と違いを説明できる。(ワークシート)【振り返り力】</p>
3	<p><b>整理・分析</b> 本時の目標：地方財源の課題を考察し，説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地方公共団体の一般的な収支を知る。</li> <li>地方財政の課題について考える。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>地方公共団体が得る収入にはいろいろな方法があるんだな。</li> <li>地方公共団体は依存財源なしでは成り立たないんだな。自分の町はどうなんだろう。</li> </ul>	<p>◇地方財政の課題を考察し，自分の言葉で説明している。</p> <p>★地方財政の課題について財源の違いと多岐にわたる事業内容から改善策を考えている。(ワークシート)【協働的課題解決力】</p>
4	<p><b>まとめ・創造・表現</b> 本時の目標：地方自治を現実するために住民参加の権利と多様な方法があることを理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地方自治に参加する権利と方法を知る。</li> <li>地域づくりに関わる団体について知る。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>行政機関だけが町づくりをしているのではないんだな。</li> <li>今の自分がよりよい町にできることは何だろうか。</li> </ul>	<p>◇住民が政治に直接参加できる権利を理解し町をよりよくする方策を考えている。</p> <p>★町内で行われている住民ボランティアから自分の参加できる活動について考えている。(ワークシート)【振り返り力】</p>
5 本時	<p><b>実行・振り返り</b> 本時の目標：町に必要な地方公共団体と住民の活動を考えることができる。</p> <p><b>パフォーマンス課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元を貫く課題を解決する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>町の活性化のために優先すべきことはなんだろう。</li> <li>自分たちには都合がよくても他の年齢層の人たちにはメリットがあるのかな。</li> <li>町の予算と民間の要望とのバランスが取れるのはどんな活動かな。</li> </ul>	<p>◇★課題解決に向けて限られた条件と広い年齢層への恩恵を考慮しパフォーマンス課題に取り組む。(ワークシート，行動観察)【主体性・協働的課題解決力】</p>

## パフォーマンス課題

育てたい資質・能力	主体性，協働的課題解決力，振り返り力（メタ認知力）
教科の評価規準	町の課題を直視し，活性化のために自治体と住民の実現可能な行動案を示すとともに効果が期待できるものになっている。

### パフォーマンス課題のシナリオ

あなたは中国地方の中山間地域に住んでいる中学生です。同居する祖父母は「昔は町に活気があった」と言います。現在の町は，かつては店舗だった建物が廃業によって空き家や住宅に変化していたり，利用したいとは思わない商店があったりと元気がないように感じられます。社会科の学習で町は少子高齢化の進行（福祉），進学や就職に伴う若年層の町外への流出（子育て，教育，

生産年齢人口の減少), 人口減少による空き家や耕作放棄地の増加や事業所の規模や数の少なさによる税収の減少(財政, 経済)などさまざまな課題に直面していることを学習しました。

上に挙げた諸課題に地方公共団体と住民はどのように取り組めば, あなたは“元気のある町”になると考えますか。

### 予備的ルーブリック

尺度(レベル)	記述語(パフォーマンスの特徴)
3 理想的	実施することにより複数の課題解決が期待できるとともに, 世代間の不公平感を考慮した町を活性化できる実現可能な活動を提案している。
2 合格	実施することにより複数の課題解決が期待でき, 町が活性化する活動を提案している。
1 乗り越えさせたい実態	実施することにより町の活性化が期待できる活動を提案している。

## 本時の学習

(1) 本時の目標

町を活性化させるために官民の活動を考えることができる。

(2) 本時の評価規準

課題解決に向けて限られた条件と広い年齢層への恩恵を考慮し自治体と住民の活動を考えている。

(3) 準備物

ワークシート, ホワイトボード, マーカー

(4) 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準(評価方法)	資質・能力(評価方法)
<b>1 既習事項の確認 (5分)</b>			
○小テスト	◆誤答した問題は教科書等で確認し, 定着を図る。		
<b>2 学習内容を確認する (3分)</b>			
○課題を把握する。 【本時の目標】			
町に必要な地方公共団体と住民の活動を考えることができる。			
○学習の流れを確認する。	◆本時の見通しを持たせる。		
<b>3 パフォーマンス課題 (37分)</b>			
○パフォーマンス課題に取り組む  ○グループ内での最適解を考える        ○グループ内での活動案を発表する。	◇町の課題は多岐にわたること, 依存財源が大半を占めること, 民間の活動は利益を求めものが多いなどを確認させる。  ◆自分が最優先と思うことについて考えさせる。  ◇「○○することで△△となり, 町が元気になることが期待できる」のように荒唐無稽の案にならないようにする。  ◇出された意見による影響が可能な限り広範囲に及ぶように促す。	町の課題を直視し活性化のために自治体と住民の実現可能で効果が期待できる行動案を多様な視点に着目して捉え, 示している。 (ワークシート, ホワイトボード)	他者の意見から新たな考えを持っている 【協働的課題解決力】
<b>4 振り返り (5分)</b>			
○振り返りを行い, 気づきを記述する	◇意見の変容や友達の意見で自分にはなかった視点について記述させる。		本時の学習内容を地元について考える契機や他教科での活動につなげる記述をしている。【振り返り力】